



北海道倶知安高等学校

第94号

しらかばの樹

2025年 広報9月

地域通信

URL <http://www.kutchan.hokkaido-c.ed.jp>



地域の皆さまへ「コミュニティ・スクールについて」

学校運営協議会委員(総務部長) 川本 賀信

令和7年度から倶知安高校はコミュニティ・スクールとなりました。コミュニティスクール(学校運営協議会制度)とは、学校と地域住民等が力を合わせて運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図る仕組みです。本校は今後、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体になって特色ある学校づくりを進めていきます。

5月には第1回学校運営協議会を開催しました。この会は、地域住民、行政機関の職員、学識経験者、校長及び教職員13名で構成されています。校長から学校の経営方針、進路指導部長から産学連携について、私からは教育連携について説明しました。熟議の場面では、委員の方々から、より多くの地域の方々が支援する「地域学校協働本部」のような体制づくりの必要性や、高校生が住む羊蹄山麓地域の魅力や課題に触れさせることの必要性、そして実際に仕事場で大人が活躍する姿を見る機会を増やす必要があるとのお話を頂きました。

現在倶知安高校では、総合的な探究の時間(ヘラルド・プロジェクト)において、生徒達が地域の魅力や課題の探究を行ったり、インターンシップや、地元企業の方々との連携を行いながら課題研究を行っています。また地域貢献活動として、くっちゃん子育て応援し隊ポッケラボが開催する“ココカラ”に定期的に参加し、子どもの見守りや、食事の準備と提供を行ったり、倶知安中学校では学習サポート、倶知安町絵本館では幼児に絵本の読み聞かせ、各季節ごとの各種お祭りにボランティアとして参加しています。地域の方々の温かみや、この地域特有のよさというものを生徒達は経験しています。今後は、倶知安風土館が対象とする自然・歴史分野について、「興味があって学びたい」中高生が学びを深められる地域サークル麓花(ろっか)が始まる予定です。

学校運営協議会委員の方々からも、すでに行っている地域での活動については評価をいただきました。今後も地域の様々な課題を踏まえ、生徒一人一人の夢の実現を目指し、地域教育力の活性化を行い、「地域とともにある学校」づくりを進めて参ります。学校の取り組みや支援などについて要望や意見などがありましたらお知らせください。



じゃがまつりにて



絵本館祭りにて



ポッケラボでの活動(食事の提供)

学校祭へのご来場、ご協力いただきましてありがとうございました。

生徒会担当 井上 裕稀

7月4日・5日に開催された今年度の学校祭は、「瞬」というテーマの下、若いこの一瞬を大切にしようと生徒達は準備を進めてきました。

今年度からファッションショーの新設や調理が解禁された模擬店など、多くの新たな試みの中で行われ、無事に終えることができました。これもひとえに、遅くまで作業に励んでくれた生徒会執行部、そしてお手伝い頂いたPTAの保護者の皆様の温かいご支援のおかげです。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。また、地域の方々にも多くご来場頂き、ありがとうございました。感謝申し上げます。

来年度の学校祭も、生徒、保護者の皆さま、地域の皆さまが、より一層楽しめるような取り組みを実施していきたいと考えています。



「読者の日常にワクワク感を！」倶高新聞局、絶賛活動中！

新聞局顧問 矢内 亮

倶知安高校新聞局は、令和2年度を最後に活動が一時休止状態となっていました。令和7年度から再始動することになり、現在は1年次1名、2年次3名、3年次1名の計5名で活動しています。過去の記録を読み返すと、新聞の月1定期発行を目的とした活動は平成23年度以来、13年ぶりとなるそうです。

再始動後はこれまで7号の新聞を発行しており、学校行事や部活動での生徒の活躍を中心に上げています。また、「地域を取材する」ということも大事にしており、これまで「お菓子のふじい」や「須藤写真館」といった倶知安町で長年経営を続けている店舗に取材を行い、特集記事を作成しました。これからも積極的に地域取材を行っていきたくて考えていますので、ご協力よろしくお願いします。

発行している新聞は毎号、生徒に配布しております。保護者の皆様には、ぜひ1度お読みいただくと幸いです。まだまだ発展途上の新聞局ですが、「読者の日常にワクワク感を！」をスローガンに、これからも一つ一つの取材を大事にして活動していきますので、応援よろしくお願いします。



取材風景①



取材風景②

高校生向け合同企業説明会「地元企業の魅力発見フェア2025」

1年次主任 熊坂 憲人

7月16日（水）ホテル第一会館にて、本校1年次生が「地元企業の魅力発見フェア2025」に参加しました。後志管内を中心に活躍する21の企業からご説明をいただき、地元で働くことの魅力や意義について理解を深める貴重な機会となりました。企業の方々から直接お話を伺う中で、地域の産業が私たちの暮らしを支えていることを実感し、将来を考える良いきっかけになったようです。今後も地域とのつながりを大切にし、地元を担う人材としての意識を育んでいけるよう指導を続けていきたいと思っています。



企業説明を受ける生徒

生物のフィールドワークについて

教諭(理科) 遠藤 千利

倶知安高校の生物の授業では、身近な自然について探求するきっかけになればと、様々なフィールドワークを行っています。春先には、春にしか咲かない植物（スプリングエフェメラル）を観察しに行ったり、北海道の固有種であるエゾサンショウウオやめずらしいプラナリアの仲間であるキタシロカズメウズムシなどを観察します。その一環として、本日のテーマである倶登山川の魚類調査を実施しています。やり方は約20cmの水網を使った追込み漁で魚を捕まえ、魚種とサイズを測って記録します。ヤマメやフクドジョウ、ウグイ、時にはスナヤツメなどが捕獲できます。生徒たちは概ね楽しみにしているようで、魚が採れても採れなくても楽しんでやっています。夏季でも川の水は冷たいときがあるので、水に入る瞬間は悲鳴があがります。それでも採り始めると夢中でどんどん深みにはまっていく生徒もいます。まだまだきちんとデータを集めて分析するところまではいってませんが、体験型の学習の意味は大きく、体験したことを生かして教育大を目指して合格した生徒も存在します。今後もこの授業を楽しみながら続けていきたいと思っています。



授業風景(倶登山川の魚類調査を行う生徒達)

行事予定（9月～11月）

- | | |
|--------|----------------|
| 9月2日 | 前期期末考査（～5日） |
| 19日 | 生徒会役員選挙 |
| 25・26日 | 秋季体育大会 |
| 10月1日 | 後期始業式 |
| 7日 | 芸術鑑賞 |
| 28日 | 見学旅行（2年次、～31日） |
| 11月18日 | 後期中間考査（～21日） |